

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ユニバーサルツーリズムを前面に出した山岳観光地としての地域活性化
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 白馬スポーツ・自然振興協会 〒長野県北安曇郡白馬村神城 22200-31 TEL0261-75-2698 FAX0261-75-3385
事業区分	⑥産業振興・雇用拡大に関する事業(特色ある観光地づくり) ⑧地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,748,436円(うち支援金: 1,240,000円)

### 事業内容

ユニバーサルツーリズムを前面に出した山岳観光地として白馬を中心とする大北地域(0261地域)の地域振興を図る。所謂、旅行弱者(高齢者、障がい者、発達障がい児童、リハビリ患者、言葉の不自由な外国人、アレルギーを持った方、ペット連れ等々の方々)のためのランドオペレーター楽旅(らくたび)サポートセンターを立ち上げ。ホテル・ペンション等宿泊施設、バス・ハイヤー・タクシー等交通機関旅行および各観光スポット等々の旅行素材の紹介・手配。介護旅行サポーター資格を取得するための講座開設。人材育成、就労支援。

これら取り組みのフック的事业として平昌冬季オリンピック、2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿所、練習場の誘致を位置づけ。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

全ての旅行者に安全・安心の旅行素材の手配が可能となった。またそれを支える旅行者のケア、ハンドリングを安全に取り扱う人材の育成、手配が可能となった。実際に介助旅行を支える人材育成のための講座、研修会等を実施、発達障がい児童のキャンプも実施。加えて、介助旅行機器・JINRIKIの運用実地訓練を改めて設定、名称も改めて「楽旅サポーター」との呼称とし、1級から3級までの設定が明確化した。7/1シンポジウムを開催。各界のオーソリティが参加、ユニバーサルツーリズムというテーマの具体的な様々なカテゴリー、それに応じた今後の推進、普及への具体策が提示でき、今後の発展的な取り組み方向性を明示出来た。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成29年度の取り組みを通じて、信州大学工学部、同産学官連携・地域総合戦略推進本部、長野大学、白馬高校、(株)ミールケア等々との取り組みが実現。特に信大～白馬村地域連携協定によるユニバーサルツーリズムを担う人材育成について将来的・発展的な取り組みの見通しが立ってきた事、および、アレルギーフリー食材として信大工学部の指導のもと、ソルガムきびの栽培2年目にして明確な販路が設定できた事、併せて車椅子ソフトボール等の普及に関して、日本車椅子ソフトボール協会、日本車椅子フットボール協会および長野県障がい者スポーツ協会と協力関係が樹立出来、具体的な全国大会を白馬で実施する予定(平成30年9月)。

### (活動写真)



【長野大生中心のUT研修会】

### 【目標・ねらい】

- ①障がい者スポーツ大会の実施
- ②UT対象観光旅客取扱講習の実施
- ③発達障がい児童のキャンプの実施
- ④高大連携によるバリアフリー調査とガイドマップの作成

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

ユニバーサルツーリズムの様々なカテゴリーを総合的に推進する組織として全国初と自負している。幅広いカテゴリーから一つ一つ実施してゆく目処が立った。